

サステナビリティ経営方針

2025年9月

株式会社ナカジマ

代表取締役 中嶋 幸保

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

当社は、商社および機械加工メーカーとして、長年の経験に裏付けられた実践的かつ具体的な提案と、多彩な生産設備を用いて幅広い産業分野のものづくりに貢献しています。

今回の検討結果

当社は、幅広い産業分野のものづくりに貢献しています。一方、持続的な成長のためには、人手不足が深刻化する中で、多様な人材が活躍できる環境の整備、取引先との継続した関係を維持するために製品の安定供給が必要です。また、環境課題への対応として、温室効果ガスの削減、省エネ等に取り組むとともに、地域の持続的な発展に貢献する活動にも注力していくことが重要と考えます。そこで、次の四つの課題を重要課題(マテリアリティ)として、取り組みを充実・強化してまいります。

*** マテリアリティ ***

働きやすい職場
環境の整備

製品の安定供給

環境負荷の低減

社会貢献
地域貢献

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

働きやすい職場環境の整備

選定理由

従業員が安心して働き続けられる職場環境を整備することは持続的な成長に繋がることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 健康経営推進の体制整備、施策の実施
- 従業員全員が前年の有給休暇取得日数以上に取得できるよう業務の見直しを実施
- 人材育成・人事評価体系整備に向けた職位・職能の整理

取り組み効果

- 従業員満足度の向上
- 人材の確保・定着



マテリアリティ

製品の安定供給

選定理由

製品を安定して供給するための設備及び体制を維持することは、持続的な成長に繋がることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- ISO9001に基づく品質マネジメントの推進
- 製品の向上・安定供給のための設備導入・更新

取り組み効果

- 企業の信用力の向上



KPI(目標と指標)

- 2026年までに健康経営優良法人の認定を取得
- 年間有給休暇取得率の向上
- 2028年までに人材育成・人事評価の仕組みを導入

KPI(目標と指標)

- ISO9001認証の継続
- 2028年までに加工機3台を増設
- 2030年までに既存の設備を5台更新

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

環境負荷の低減

選定理由

温室効果ガスを削減すること、省資源の取り組みを推進することは、環境負荷を低減する取り組みであり、持続的な成長に繋がる取り組みであることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 温室効果ガス排出量の把握、削減目標の設定
- 製造工程の見直しによる不良品の削減

取り組み効果

- 環境負荷の低減
- 業務効率化



マテリアリティ

社会貢献・地域貢献

選定理由

地域において事業活動を行う企業にとって、地域社会と良好な関係を構築・維持する取り組みは、企業の信頼性の向上と持続的な成長に繋がる取り組みであることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- インターンシップの継続開催
- 地元人材への雇用機会の提供
- 地域イベント等での寄付
- 従業員の教育機会の提供

取り組み効果

- 人材の確保・定着
- 地域社会との信頼関係の深化
- 従業員の満足度の向上



KPI(目標と指標)

- 2026年までに温室効果ガス排出量削減目標の設定
- 2028年までにISO14001を取得
- 製造工程の見直し等による不良品発生率を1%以内とする(2024年度実績1.21%)

KPI(目標と指標)

- インターンシップの実施(年1回以上)
- 地元人材の採用(毎年1名以上)
- 地域への寄付
- サステナビリティ経営に関する社員教育の実施(年1回実施)